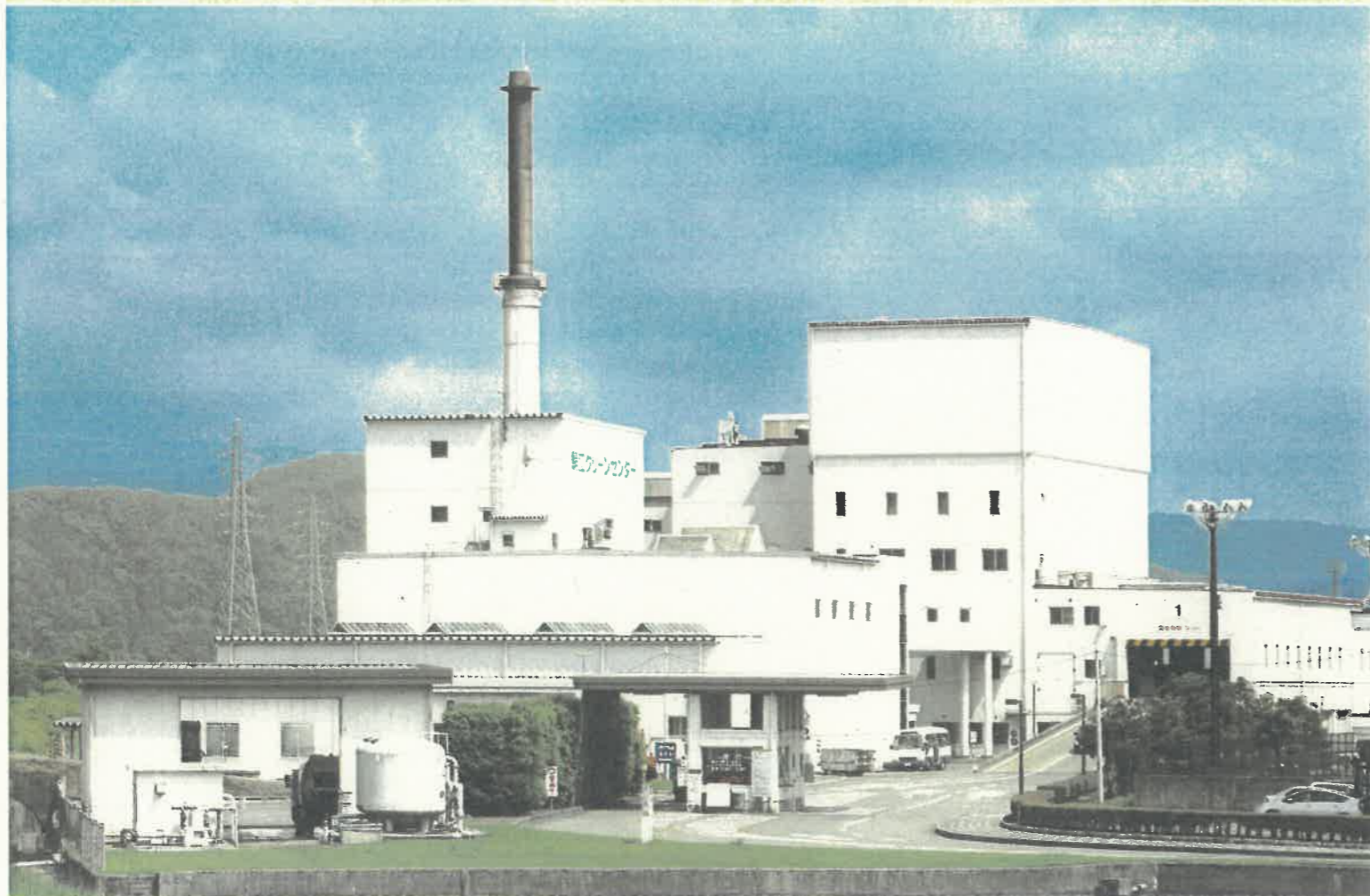


鯖江クリーンセンター



鯖江広域衛生施設組合



施設案内図



鯖江広域衛生施設組合
鯖江クリーンセンター

〒916-0006 福井県鯖江市西番町15-11
TEL0778-51-2310 FAX0778-51-4685

鯖江広域衛生施設組合の概要

設置年月日 昭和58年4月1日

事務局所在地 鯖江市西番町第15号11番地
 管理課 TEL (0778)51-2406 FAX (0778)51-4685
 業務課 TEL (0778)51-2310 FAX (0778)51-4685

構成市町 福井市、鯖江市、池田町、越前町

- 業務内容及び関係市町**
- 塵芥処理業務 (福井市、鯖江市、越前町)
 - し尿処理業務 (鯖江市、池田町、越前町)
 - 葬斎業務 (鯖江市、越前町)
 - 汚泥処理業務 (福井市、鯖江市、池田町、越前町)
 - 体育施設の設置

※福井市は旧丹生郡越廼村及び清水町の区域



鯖江クリーンセンター塵芥処理施設の概要

ごみ焼却施設

処理能力 120t/16H (60t×2炉)
 処理方式 旋回流型流動床焼却炉
 建設年度 昭和58年8月
 ~昭和61年3月
 施設概要 鉄骨ALC造 (一部RC造)
 地上6階 地下1階
 延床面積 3,355m²
 工場棟 2,764m²
 管理棟 591m²

粗大ごみ処理施設

処理能力 50t/1日 (5時間)
 処理方式 横型回転破砕機
 粗大ごみ前処理装置
 二軸低速破砕機
 選別設備 磁選機、粒度選別機、
 アルミ選別機
 建設年度 平成3年12月
 ~平成5年3月
 施設概要 鉄骨ALC造 (一部RC造)
 地上5階 地下1階
 延床面積 2,533m²

最終処分場 (夢の杜おた)

所在地 丹生郡越前町平等地係
 設備内容 埋立地面積 19,400m²
 埋立容量 116,800m³
 浸出水処理量 80m³/日
 建設年度 平成5年8月
 ~平成7年3月

資源物施設

建設年度 平成4年4月
 施設概要 敷地面積 1,229.2m²
 スtockヤード
 鉄骨造平屋
 工場棟 245.85m²

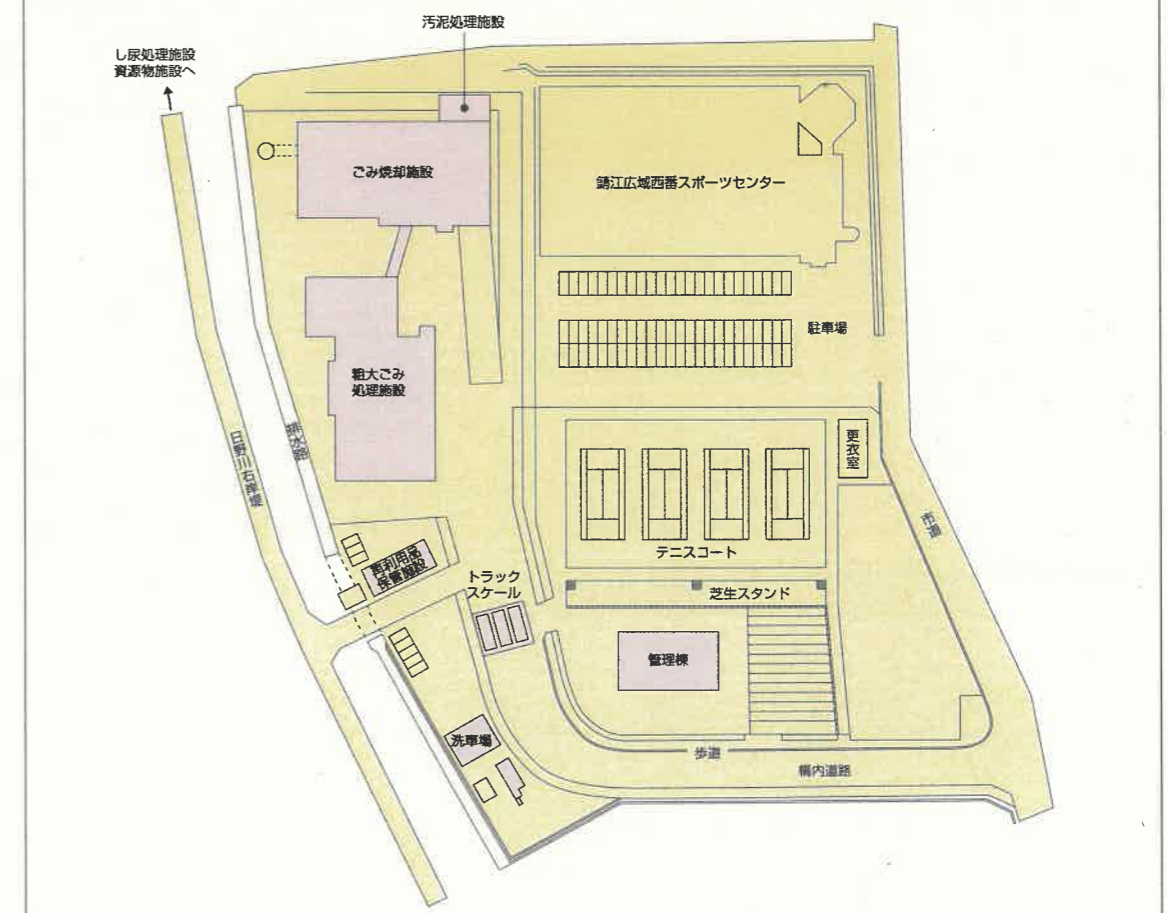
再利用品保管施設

建設年度 平成7年9月
 ~平成8年3月
 施設概要 鉄骨造平屋
 延床面積 195.93m²

汚泥処理施設

処理能力 2.4t/H (1.2t×2基)
 処理方式 ごみ混焼方式
 建設年度 平成2年9月
 ~平成3年3月
 施設概要 鉄骨ALC造
 地上2階 地下1階
 延床面積 207m²

■クリーンセンター周辺配置図



住みよい環境づくりをめざした衛生的な施設。
省エネ・コンパクトで公害防止に万全を期しています。

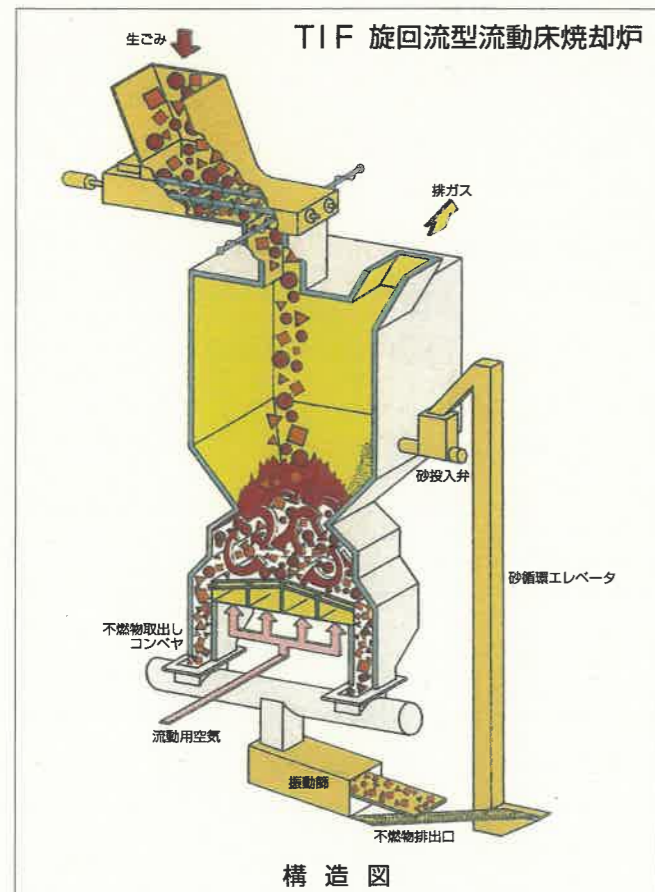
搬入されたごみは、計量をして、ごみピットに貯えます。ピットには2.5日分（300 t）のごみ貯えが可能です。クレーンでホッパに投入し、給塵機・掻取機で適当な大きさに破袋して、炉の中へ連続して供給します。炉の中は、砂を高温に熱し流動させています。掻取機により分散されたごみは、砂と接触し混ざることにより、短時間で完全に燃焼されます。ごみピットの臭気や汚水も、全て内部処理しているため衛生的です。

ろ過式集塵機の手前で排ガス中に薬品を投入し、有害物質を吸着・分解し、ダイオキシン等を規制値以下に抑えます。

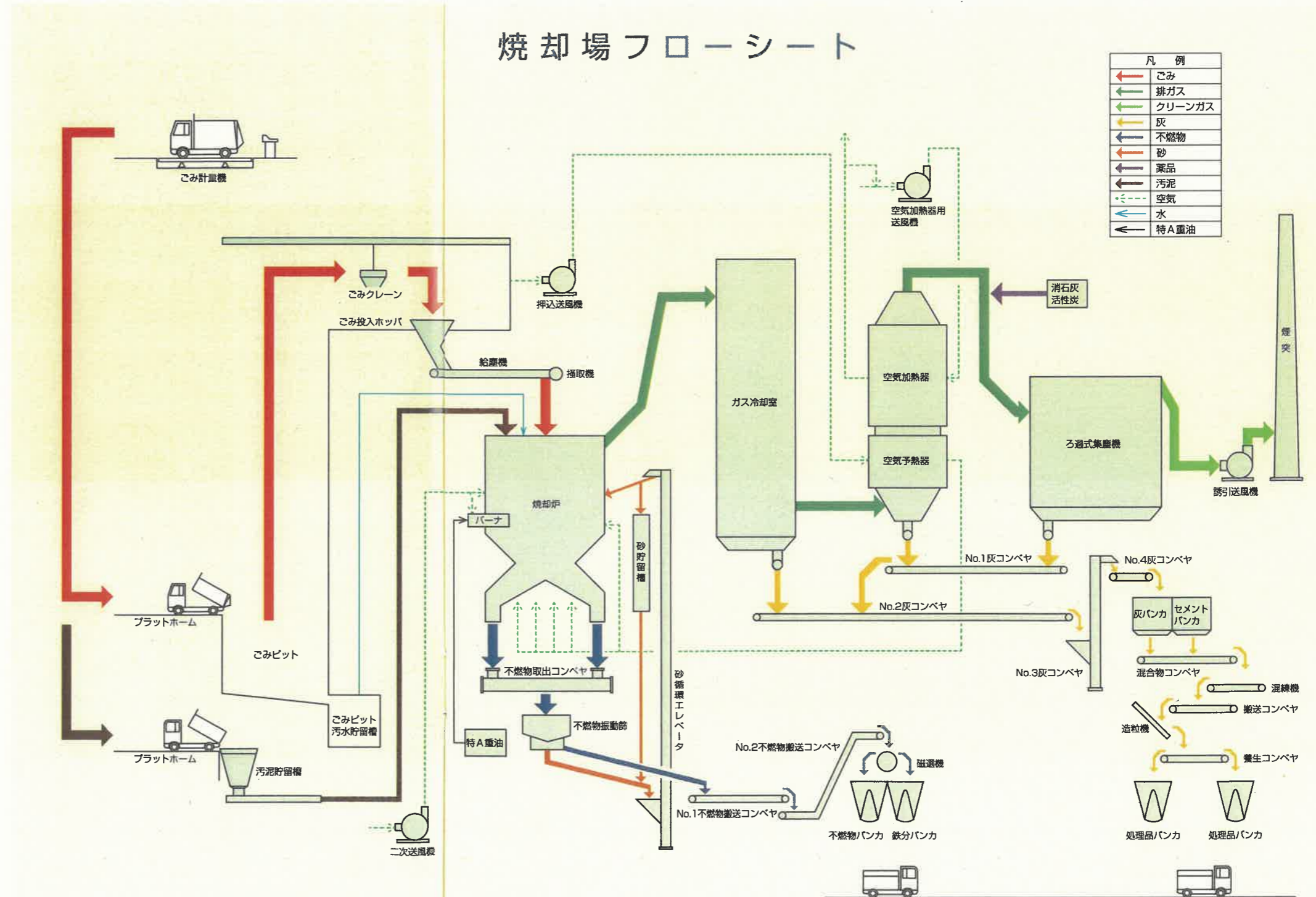
ろ過式集塵機等によって捕集された灰は、セメント固化した後場外埋立地へ搬出しますので、飛散等の二次公害を防止しています。

煙突から出るガスは、薬品投入やろ過式集塵機を有している為、クリーンなガスとなります。

不燃物（鉄分等）は炉下より自動的に取り出されます。磁選機で鉄分とそれ以外にわけ、それぞれ場外へ搬出します。

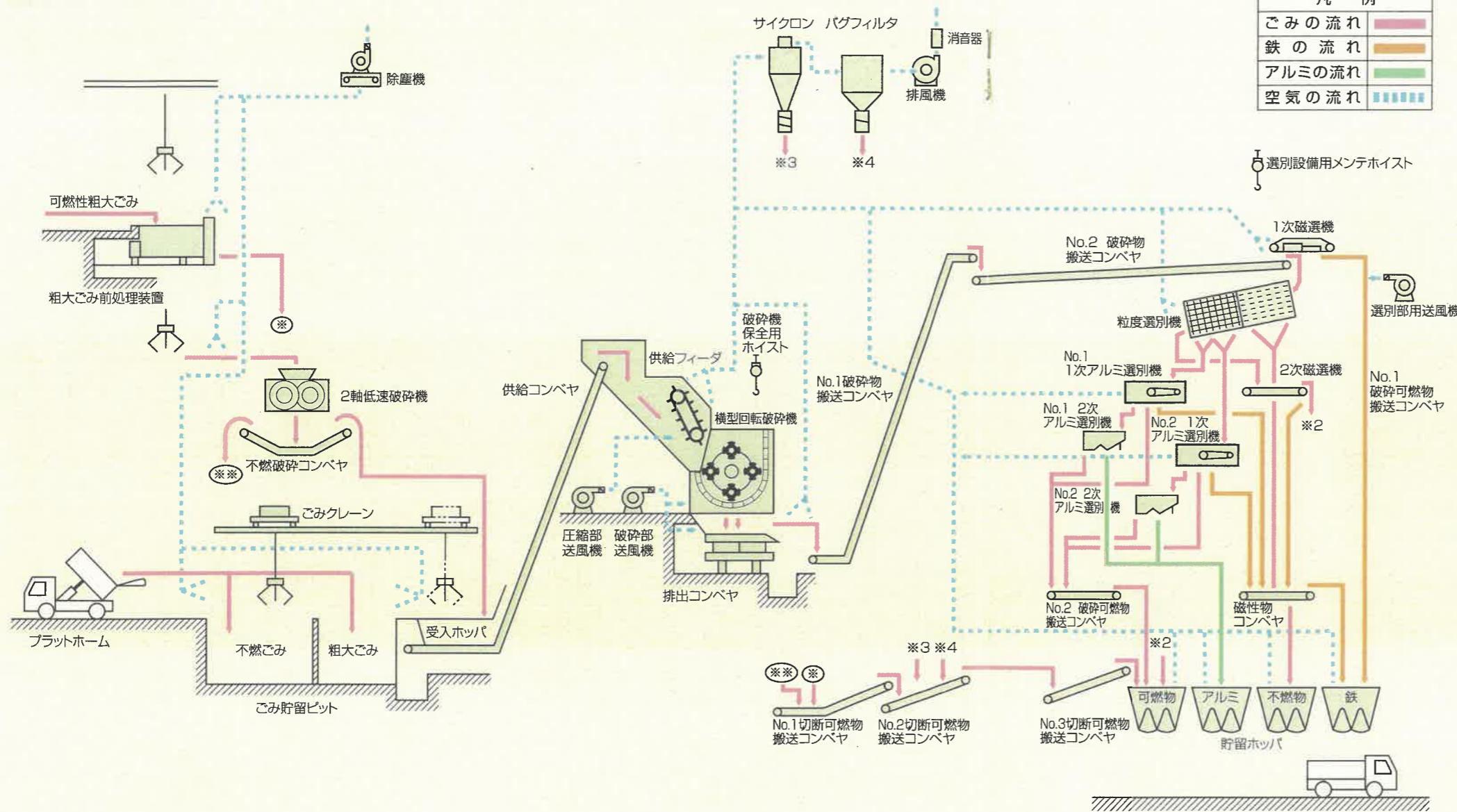


焼却場フローシート



収集されたごみは、こうして資源化処理されます。

■フローシート



施設の特徴

本施設は不燃ごみ、粗大ごみを安全に、かつ衛生的に処理する為に建設された施設です。搬入される多種多様のごみに対応した前処理装置と、衝撃・剪断効果のあるリングハンマを備えた横型回転破砕機を採用しており、効率的にごみを破砕します。破砕されたごみは磁選機、粒度選別機、アルミ選別機を経て、鉄、不燃物、可燃物、アルミの4種類に分けられます。資源化されるのは機械選別による鉄、アルミで、それぞれ再生業者により再び資源として利用されます。

二次公害防止

公害関係法令及びその他関連法令に適合し、これを遵守する構造、設備とし、規制値をクリアしています。ごみの搬送、貯留途上での騒音、各機器より発する騒音の対策として全ての設備を防音建屋内に収納しております。特に破砕機は厚い鉄筋コンクリートの破砕機室に納めて壁に吸音材を貼り付けています。また強固なコンクリートの基礎に防振ベッドで振動を吸収しています。投入部、破砕部、選別部及び排出部には集塵フードを設け、ダクトで集塵装置に導き完全に集塵しますので、周囲の環境を汚染しません。

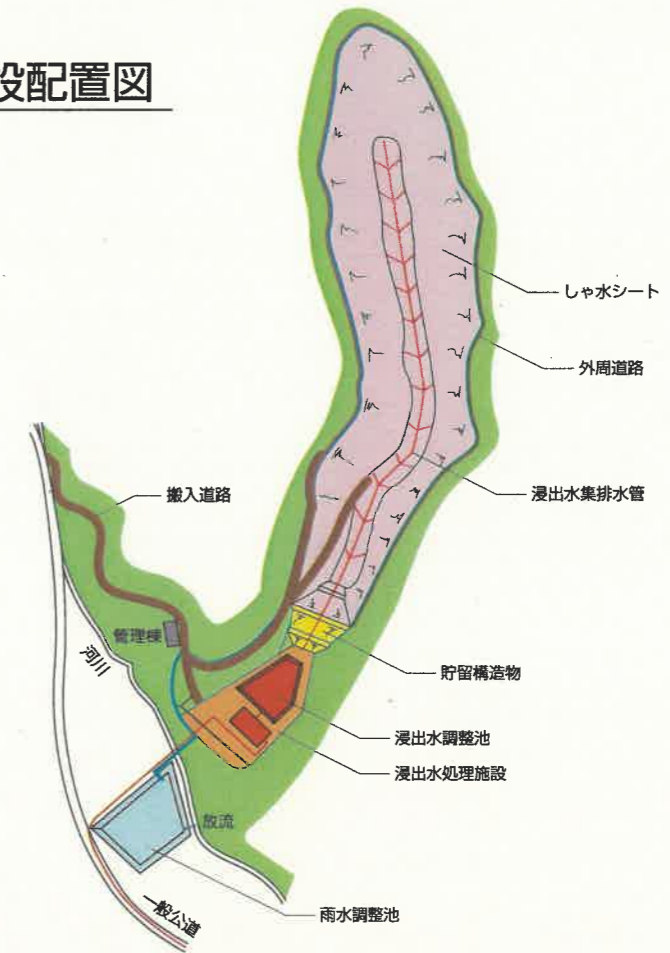


■中央操作室
本粗大ごみ処理施設は中央操作室にて、モニター、各種センサーによる遠隔集中制御方式で運転状況を把握します。

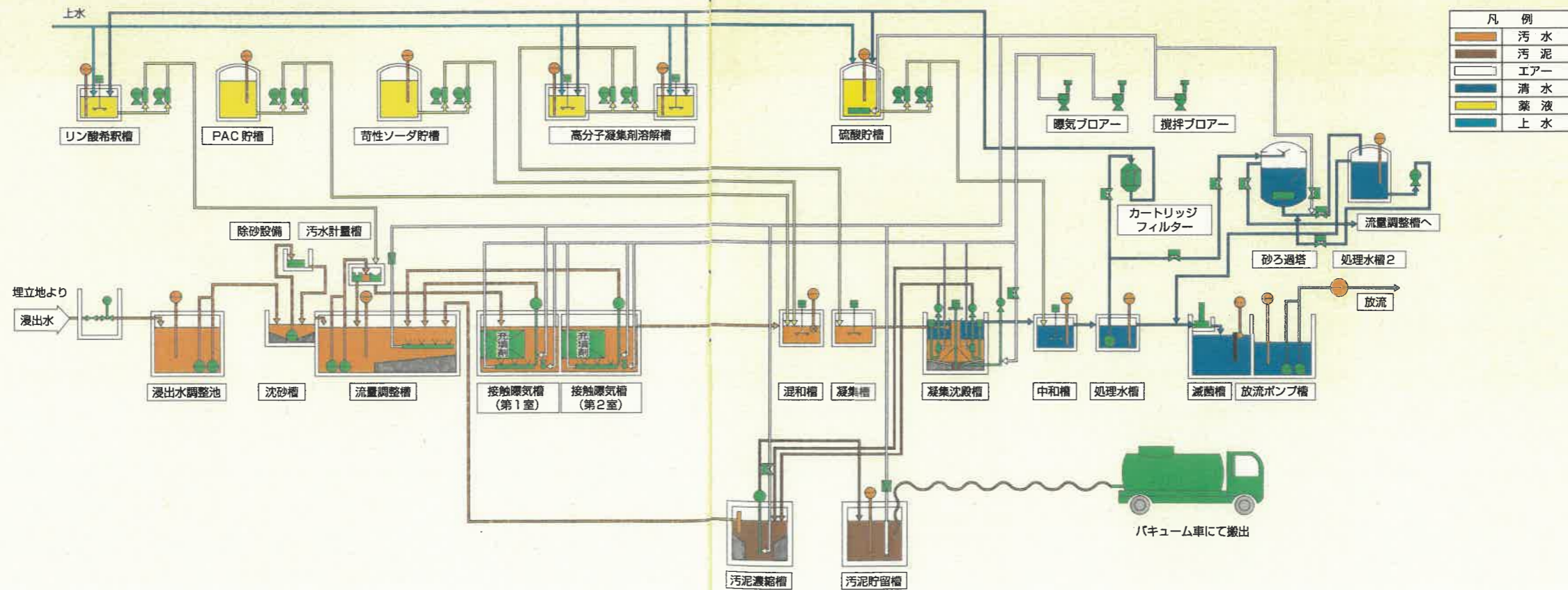
— 快適環境を創造する — 夢の杜 おた^{もり}



最終処分場主要施設配置図



浸出水処理設備
フローシート



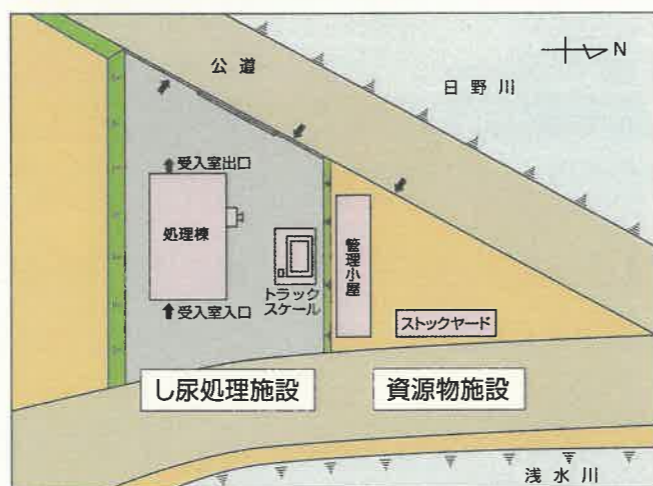
最新の設備を採用して、 周辺の環境保全を 行っています。

施設の概要

この施設は、し尿および浄化槽汚泥を衛生的に処理する施設であり、その特徴は、し尿および浄化槽汚泥に含まれる夾雑物を除去し、下水道の終末処理場へ移送する施設です。

- 施設名……し尿処理施設
- 所在地……鯖江市西番町第20号20番地
- 敷地面積……1,592.96㎡
- 建物面積……663.02㎡（延床面積）
鉄骨ALC造り・地上2階・地下1階
- 処理方法……前処理方法
- 処理能力……80kℓ/日
- 着工……平成4年6月
- 竣工……平成5年3月
- 事業費……722,854千円

全体配置図



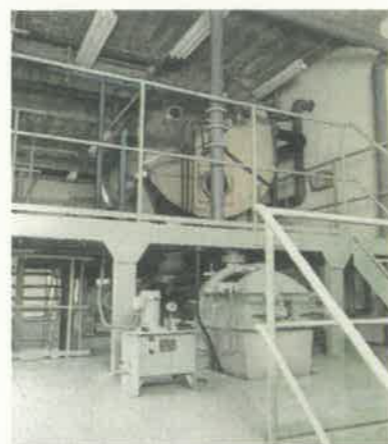
■トラックスケール

バキューム車で集められたし尿は、ここで計量します。し尿の正味重量は、搭載したままで算出し、自動的に記録・集計されます。



■受入室

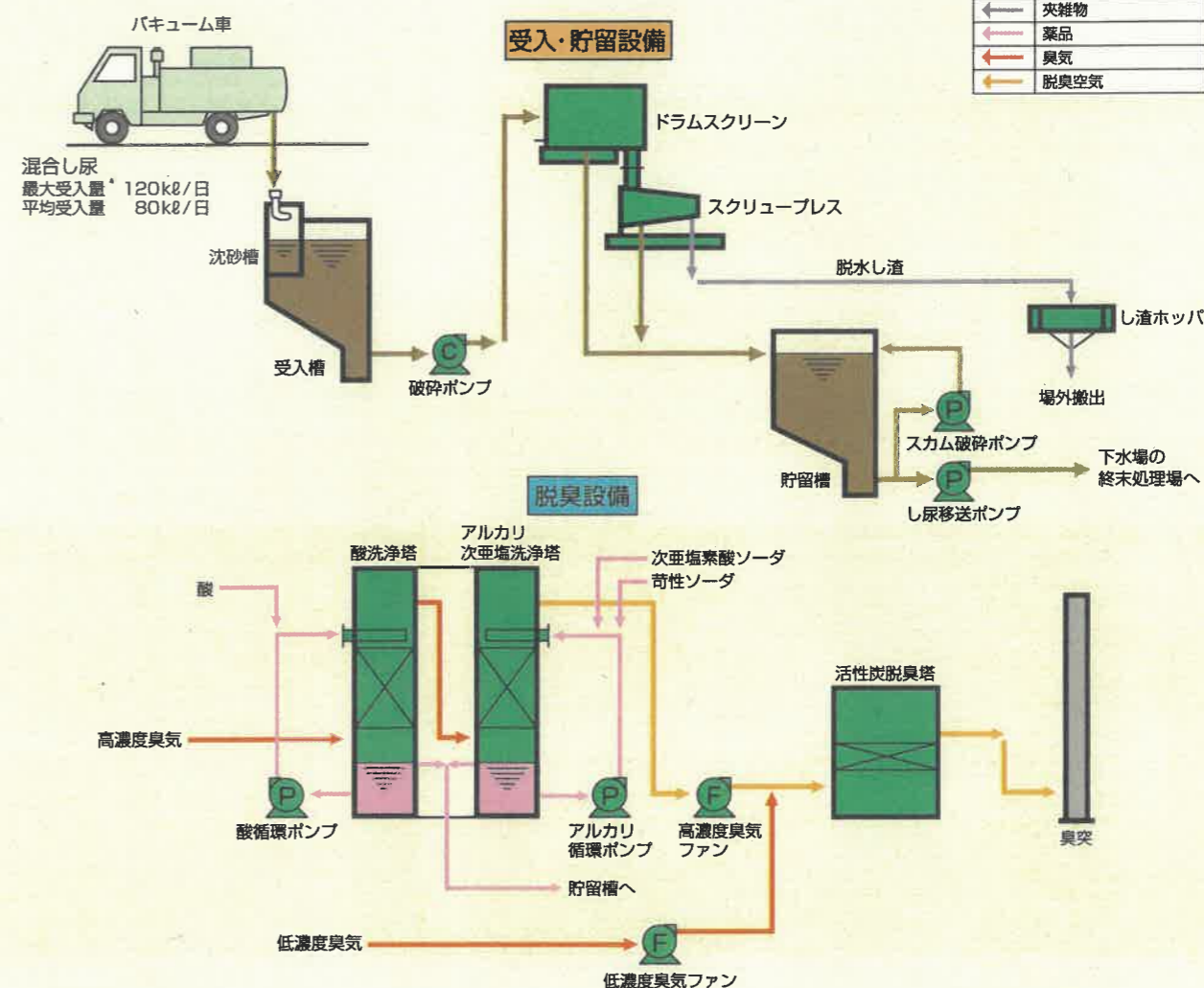
計量が終わったバキューム車はここに入り、地下の槽へ投入します。出入口のドアは自動開閉式で、外部に臭気もれないように細心の注意を払っています。



■前処理機械

し尿に含まれている布ぎれ、紙、ビニールなどの夾雑物は細かく砕いてから、ドラムスクリーンで取り除き、スクリュープレスで圧縮脱水し、し渣として場外に搬出します。

■フローシート



■酸・アルカリ次亜塩素酸脱臭塔

受入槽や貯留槽から発生する高濃度臭気は、ダクトで集めてここに入り、薬液洗浄処理して活性炭脱臭塔へ送ります。



■活性炭脱臭塔

薬液洗浄処理された臭気や受入室などから発生する低濃度臭気を、活性炭を通して脱臭し大気へ放出します。



■薬注設備

本施設において使用する薬品は、ここから自動的に送られています。